

令和7年度 シラバス

教 科	数学	科 目	数学Ⅰ	学 年	第1学年	学 科 類 型	普通科
単位数	3 単位	教科書	高等学校 数学Ⅰ（数研出版）				
副教材	クリアー数学Ⅰ＋A（数研出版） チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋A（数研出版）						

学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	---

キャリア教育の視点	粘り強く考えることにより問題が解けたときの喜びを通して、自己肯定感を高めていきます。 数学を通して身に付けた論理的思考力を活用して、他者に筋道を立てて説明する力を養っていきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4 月	第 1 章 数と式	二次の乗法及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的に捉えることや目的に応じて式を適切に変形できるようにします。 2 次関数のグラフの特徴について理解し、2 次関数の値の変化についてグラフを用いて考察したり、最大値や最小値を求めたりすることができるようにします。	中間調査
	5 月	第 1 節 式の計算 第 2 節 実数		
	6 月	第 3 節 1 次不等式		
	7 月	第 2 章 集合と命題 第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ 第 2 節 2 次関数の値の変化 第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式		期末調査
2 学 期	8 月	第 4 章 図形と計量	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにします。	中間調査
	9 月	第 1 節 三角比		
	10 月	第 2 節 三角形への応用		
	11 月	第 5 章 データの分析		期末調査
	12 月			
3 学 期	1 月			
	2 月			
	3 月			

学習の方法	授業の中でまず教科書の内容を理解していきます。その後問題集を用いて演習を行い、授業内容が理解できているか、自分の力で解くことができるかを確認していきます。 予習・授業・復習の良い流れを作り、計画性をもって学習に取り組んでいきましょう。
-------	--

評価の仕方	定期調査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。 その際、知識・技能や思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度も考慮します。
-------	--

備考	
----	--